

平成23年度
実施事業

平成24年度作成

事務事業名 産業クラスター構築支援事業

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	2	域内経済循環の基礎となる複合的産業基盤の形成
小分類	1	観光を軸とした産業クラスターの構築
主要な施策	1	観光産業と他産業の連携支援
事務事業番号	002	事業開始年度 平成 20 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	基幹産業である観光を中心に地場の様々な産業との連携を図り、自立的発展が可能な複合的な産業構造を構築することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	滞在型・健康保養地型の新たな観光モデルの創出に向けた活動や観光と連携したブランド推進に向けた活動を行った。 【事業実績】 ・登別ブランド推進事業におけるPR及び販路拡大のための職員派遣 (海老名市民まつり、福生七夕まつり、札幌オータムフェスト等)
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	観光産業を軸とした他産業との連携による新たな事業を創出する等の事業の展開を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費(財源内訳)の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	621	630	780	780	780
事業費合計			621	630	780	780	780

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	支援事業の件数	件	目標値	2	0	0		
			実績値	1	0			
	協議会等を母体とした事業化件数	件	目標値	2	0	0		
			実績値	1	0			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<p>・観光産業と他産業の連携により新たな事業等を創出し、市内経済活性化を図ることを目的として取り組んできた結果、「登録ブランド推進事業」や厚生労働省委託事業である「地域雇用創造実現事業」など個別の事業として展開している。</p>	<p>・健康保養地型観光の交流による「観光振興」「健康増進」「産業創出」を目指すリムセ・ツーリズム協議会に参画し、事業化に向けた取り組みを進める。</p> <p>・観光と食との産業連携を図るため、全市的に取り組む「登録ブランド推進事業」のPRや市内商品の販売促進を推進する。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 観光産業と他産業との連携を図り、新たな事業等を創出するなど市内産業の活性化に繋がる取組であり、事業化に至るまでは市が支援することに妥当性はある。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 少子高齢化、人口減少時代の到来により、地域経済活動は縮小していくことが明らかであり、観光産業を軸とし、他産業と有機的に連携し、新たな産業創出等に支援することの必要性は高い。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 今後の市内経済活動を支える事業であり、利害関係者となる民間サイドでは難しい事業である。登録商工会議所との連携により、更に事業分担を図り、効率性をあげていきたい。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 誘客事業について、年々効果が上がっているほか、登録ブランド推進事業の販売促進の成果についても、各事業者より売上げ増があるとの声がある。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	当該事業は、観光産業を軸とし他産業との連携による新たな事業を創出するものであり、今後の社会・経済情勢を考慮すると継続していかなければならない事業である。
----	----------------------	--

行政評価会議による評価 《Check》

終了	備考	本事業の展開により具体的な個別事業が取り組まれていることから、本事業のあり方を検証し、今後の取組は別事業として整理すること。
----	----	--